

PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

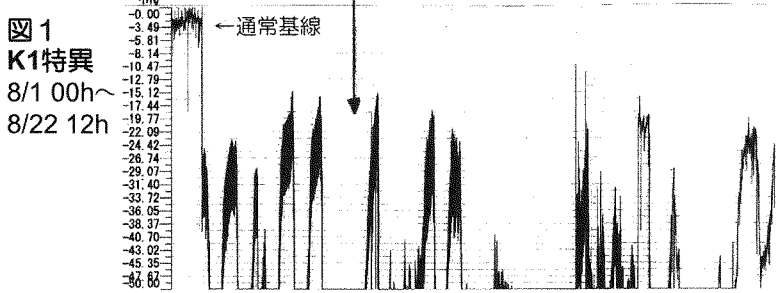
続報 No.309

2021.08/22 (日曜) 15:00 発表

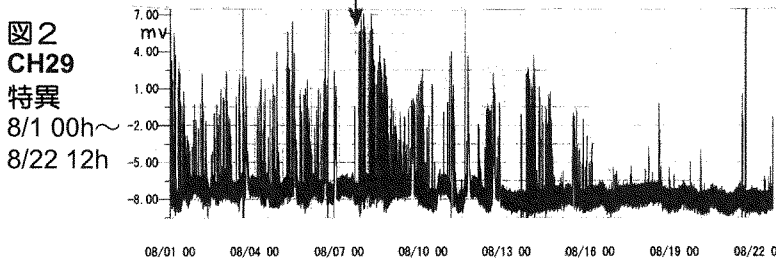
八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

No.1778続報 前号の認識正しい可能性 推定通り CH07に極大出現観測 9/9±1 発生の可能性示す変動 但し K1,CH07,CH29 変動終息まで確定保留

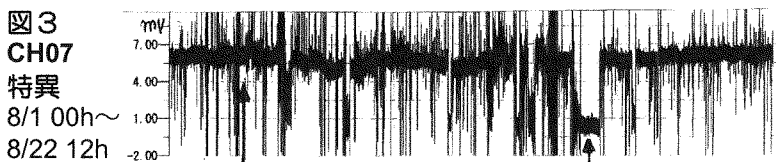
先行特異K8
初現 7/2 極大 8/7.5 → 9月13日±5
K1初現 7/20 → 9月10日±3



CH29初現 7/20 極大 8/7.5 → 9月10日±3



CH07初現 8/3.5 極大 8/16.0 → 9月8日±3



No.1778長期継続前兆群の続報。前情報では8月中発生の可能性は考えにくく、9/11±3の可能性も示唆されることを報告致しました。これが正しい場合にはCH07はまだ極大が観測されておらず、8/17±に極大が観測される可能性があることを記しました(8/15段階)。図3のCH07を参照下さい。推定通り、8/16.0中心に今までで最大の変動が観測され、極大の可能性が認識されます。(単に±と記したものは前後1日の意)

図1は高知観測点のK1の特異です。山形の変動が見え、中心は8/7.5±に見えます。8/17午後からは通常基線に戻ろうとする変動形態に変化。図2は八ヶ岳のCH29ですが、K1と同様に山形の変動に見え、やはり8/7.5±が中心に見えます。8/16以降は極めて静穏化しています。

今回は前兆期間が長いことがわかりましたので、全ての初現・極大等の変化日を0.5日単位で計算しています。

図1～3から現在の認識が仮に正しい場合には9/8～10に対応地震発生の可能性が示唆されることとなります。以前に報告したCH34のBTも、7/23.0-(5日)-7/28.0-(4日)-8/1.0を周期性と見ますと、平均周期は4.5日。周期性ないピークを7/30.0としますと、9倍値で9/8±3が計算されます。但しBT継続が短く過去例と合いません。たまたまかもしれませんので、確度は低いです。

右下に仮に9/10±2発生となる場合に観測される筈の前兆変動終息時期を計算しました。これを観測しない限りはまだ不確定ですので、前兆変動終息確認まで確定保留とし、前兆変動の終

息を待ちたいと思います。また火山性活動前兆ですが、9月上旬発生の場合は、前兆変動出現から1ヶ月以上となります。1ヶ月以上のTmapで噴火した過去例はありません(通常はより短い)。過去例では火山噴火型前兆変動が1日だけの出現では火山近傍領域での地震や群発地震が発生致しました。今回は複数日に渡っての出現でありながらTmapが過去例より長くなるのが予想され、初めて体験するもので不明です。単に火山近傍地震を示しているだけの可能性も考えられます。8月末から9月初旬に火山活動前兆変動が複数日観測された場合は、対応地震発生に伴い噴火の可能性も考えられることとなりますが、7/29極大前兆変動のみで、その後はありません。

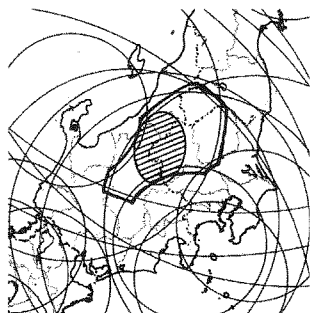


図4 推定領域図

- ◆ 推定領域：図4太線内領域内・斜線域参考推定領域
斜線域=浅間山・白根山等火山近傍領域
- ◆ 推定規模：M8.0±0.3
(近傍火山活動活性化の可能性も有るが不明)
- ◆ 推定時期：K1,CH07,CH29特異終息確認後計算予定
但し9月9日±1日(9月10日±2)の可能性有
継続前兆変動終息確認まで不確定
- ◇ 推定地震種：震源浅い陸域地殻地震
- ◇ 推定発生時刻：
CH34BT重視= PM 6:30±2 複数BT=PM 6:00±2
または
CH34BT重視= AM 7:00±3 複数BT=AM 9:00±2

9/10±2発生の場合の変動終息推定時期

(各日の夕刻～夜発生の場合で計算)

	K1・CH29	CH07
極大認識→	8/7.5	8/16.0
	↓	↓
9/8.8の場合	8/31.5±	9/02.7±
9/9.8の場合	9/01.3±	9/03.5±
9/10.8の場合	9/02.0±	9/04.2±
9/11.8の場合	9/02.8±	9/05.0±
9/12.8の場合	9/03.5±	9/05.7±

C) Copyright 2021 YSBO 八ヶ岳南麓天文台